

「希少がん医療・支援のあり方に関する検討会」開催要綱

1. 趣旨

平成24年6月に閣議決定された2期目のがん対策推進基本計画において、希少がんについては、様々な希少がんが含まれる小児がんをはじめ、様々な臓器に発生する肉腫、口腔がん、成人T細胞白血病など、数多くの種類が存在するが、それぞれの患者の数が少なく、専門とする医師や施設も少ないことから、診療ガイドラインの整備や有効な診断・治療法を開発し実用化することが難しく、現状を示すデータや医療機関に関する情報も少ないことが課題として指摘された。

本検討会においては、希少がん患者が安心して適切な医療を受けられるよう、専門家による集学的医療の提供などによる適切な標準的治療の提供体制、情報の集約・発信、相談支援、研究開発等のあり方について、希少がんが数多く存在する小児がん対策の進捗等も参考にしながら検討することとする。

2. 検討事項

- (1) 希少がんの定義について
- (2) 希少がんの診療提供体制のあり方について
- (3) 情報の集約・発信について
- (4) 相談支援について
- (5) 研究開発について
- (6) その他

3. その他

- (1) 本検討会は健康局長が別紙の構成員の参集を求めて開催する。
- (2) 本検討会には、構成員の互選により座長をおき、検討会を統括する。
- (3) 本検討会には、必要に応じ、別紙構成員以外の有識者等の参集を依頼することができるものとする。
- (4) 本検討会は、原則として公開とする。
- (5) 本検討会の庶務は、厚生労働省健康局がん対策・健康増進課が行う。
- (6) この要綱に定めるもののほか、本検討会の開催に必要な事項は、座長が健康局長と協議の上、定める。

「希少がん医療・支援のあり方に関する検討会」構成員

岩本 幸英	九州大学大学院医学研究院臨床医学部門整形外科学分野 教授
小村 健	医療法人財団 健貢会 総合東京病院 口腔がんセンター長
加藤 陽子	独立行政法人国立がん研究センター希少がんセンター
佐々木 毅	東京大学医学部人体病理学・病理診断学 准教授
西舘 澄人	特定非営利活動法人 GISTERS 理事長
馬場 秀夫	熊本大学大学院生命科学研究部消化器外科学分野 教授
堀田 知光	独立行政法人国立がん研究センター理事長
松本 誠一	公益財団法人がん研究会 有明病院 副院長
道永 麻里	公益社団法人日本医師会 常任理事
馬上 祐子	小児脳腫瘍の会 代表
渡邊 俊樹	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授

(五十音順・敬称略)

(任期：平成27年3月6日から平成29年3月5日)